

学習の記録をデータで蓄積し、学びに向かう力を高める

<期待される効果>

【児童・生徒】○学習の記録をデジタル化しておくことで膨大な量の記録が可能になり、紛失の心配もない。

【教師】○学習履歴を「いつでも」「どこでも」振り返り、成長を実感させることができる。

<学習場面>

個に応じた学習



<機能・ツール>

【共有】

M365 : Teamsファイル
(Word、Excel、PowerPointなど)

Google : Googleドライブ

□イ□ : 提出箱

<モデル事例>

○教師は、使用する記録用紙の元データを作成し、クラウド上で共有

※文書作成アプリ・表計算アプリ・資料作成アプリ等 **初級**

○学習者は、受け取ったデータに必要な事項を記入する。

クラウドの指定された場所にデータを保存する。

<ポイント>

○ファイル名の決め方を統一すると、管理しやすい。

※日付・学籍番号など数字を入れると順番に並べやすい。

例：日付__タイトル__学籍番号__氏名.jpg

<注意点>

○共有方法によっては誰でも編集可能になる。

○保護や編集制限をかけると無断で編集されることはない。

日付	実施級	記録	正答数/問題数
9月14日	4級	12分0秒	100問/100問中
9月15日		13分0秒	100問/100問中
9月16日		13分0秒	99問/100問中

名前	更新日時
(学籍番号と氏名を入力)朝マス計算記録...	昨日 17:37
3101...朝マス計算記録表.xlsx	16:39 (木曜日)
3103...朝マス計算記録表.xlsx	10:50 (木曜日)

<ハッシュタグ>

#個別学習 #ファイル共有 #一斉指導 #学びに向かう力、人間性等 #ファイルの蓄積 #初級